



気田小学校児童によるアマゴの放流について

1 目的

春野地区は「日本一きれいな川のまちづくり」を目指し、公共用水域の水質保全と快適な生活環境の向上に努めています。このことから、アマゴの放流を通じて春野地区に住む小学生に自然の大切さと環境への関心を抱いてもらうことと、下水道についての理解を深めることを目的としています。

2 日時・場所

月 日	時 間	対 象	場 所
5月24日(水)	午前10時30分から	気田小学校3、4年生 18人	国道362号 気田川橋上流

※天候不良、感染症の急激な拡大等により延期または中止する場合は、24日午前7時に決定します。

(予備日は、5月31日(水) 問い合わせ 春野上下水道室 Tel053-983-0005)

3 実施内容

浜松市天竜区春野町の市立気田小学校3、4年生児童18人が、下水道処理施設である気田浄化センターの処理水により飼育され、体長25cmほどに成長した約200匹のアマゴを気田川へ放流し、付近の河川清掃も行い「日本一きれいな川のまちづくり」活動を実践します。

4 参 考

この取り組みは、平成15年度から行っており、下水道事業がもたらす良質な生活環境の形成や、気田川の豊かな自然環境の保全などを啓発していて、平成20年度には、第1回国土交通大臣賞<循環のみち下水道賞>特別部門を受賞しています。



令和4年度 気田川(気田発電所前)



令和4年度 気田川(気田発電所前)